

平生鈞二郎 ひらへいじろう 實業家。慶應二年五月二十一日美濃國加納生れ、  
 明治二十年十一月二十七日歿（八六―一九四五）。舊姓田中。明治二十二年東京高等商業學校卒業。仁川海關幫辦、神戸商業學校校長を経て、一  
 十七年東京海上火災保險會社入社（のち専務）。四十三年甲南學校を  
 創立、大正八年甲南學園理事長。爾後川崎造船所社長、日本製鐵社長  
 等就任。昭和十年貴族院議員、翌年文相、十五年勳一等旭日大綬章叙  
 勳。また樞密院顧問官、大日本産業報國會會長と務めた。

著書 『現代學校教育に關する私見』（大正十四年九月序、無刊記）、  
 秋田甲生編著 『平生文部大臣の「漢字廢止の說」について』の議會速記  
 録とその論評』（昭和十一年十月一日大阪・カナエ社）、『名士縱橫  
 談』（他九名合著・淵田忠良編、昭和十五年八月十日大日本雄辯會講  
 談社「キングズ文庫」）等。『平生鈞二郎追憶記』（津島純三編、昭和  
 二十五年七月二十日松芳會）刊。

